

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和2年10月13日（火）9：00～9：45

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、森光係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他7名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、資料に基づき、機構の有する施設に係る審査の進め方について説明があった。

規制庁からは次の指摘をした。

- ・申請漏れを防ぐ観点から、また、審査では条項ごとに基準適合性を確認することから、同一条項に係る申請は同じ分割にまとめるべきと考えている。
- ・処理場（資料1）については、これを踏まえた具体的な分割見直し案を示してほしい。
- ・あわせて、必要以上に時間をかけないように、スケジュールを適切に見直してほしい。
- ・廃棄物管理施設（資料2）に関して、分割見直しの方針については了解した。
- ・他方、変更許可を申請予定であり、並行して進行中の設工認の審査との整合性に影響はないとのことだが、担当班と相談し、よく調整してほしい。
- ・また、当該変更許可の申請時期については別途検討が必要と考えている。
- ・三条改正に係る保安規定変更認可は、スピード感をもって対応するため、協力してほしい。
- ・安核部においては、バックエンド関連施設の審査にも十分に気を配ってほしい。

これらに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 事業者配布資料

資料1 原子力科学研究所放射性廃棄物処理場新規制基準に係る設工認の全体構成及び今後の予定について

資料2 廃棄物管理施設に係る設工認の分割申請の見直しについて